

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
久米南町	松地区	令和4年3月28日	年 月 日

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	45.1 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	26.9 ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	8.6 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	5.2 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	1.3 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	1.8 ha
(備考)	

### 2 対象地区の課題

<p>地域内の高齢化が進んでいる。 山間部の農地であるため畦畔の草刈り等作業負担が大きく、人手不足により池の管理も難しくなる。</p>
---

注:「課題」欄には、「現状」を基に話し合いを通じて提示された課題を記載してください。

### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

作業効率・生産性の向上を図り、中心経営体へと農地の集約化を進めていく。
-------------------------------------

### 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

<p><b>農地の貸付等の意向</b> 貸付等の意向が確認された農地は、5筆、1,000㎡となっている。 その他近い将来15筆、約20,000㎡貸し付けたい意向もある。</p>
<p><b>農地中間管理機構の活用方針</b> 東地区を重点実施地区とし、中心経営体が病気や怪我等の事情で営農の継続が困難になった場合には、農地バンクの機能を活用し、農地の一時保全管理や新たな受け手への付け替えを進めることができるよう、機構を通じてできるだけ中心経営体への貸付を進めていく。</p>
<p><b>基盤整備への取組方針</b> 農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため中奥地区において、農地の区画を広げ農道の拡幅を進める。 また、水路を管水路化することで管理作業の軽減を図る。</p>
<p><b>新規・特産化作物の導入方針</b> 耕作放棄地を畑化し柚子を植え、久米南町の産地化を進める。</p>
<p><b>鳥獣被害防止対策の取組方針</b> 現状の防止対策で漏れが出てきている部分を補強していく。</p>